

時間割コード	G1B30024	開講年度	2026				
授業題目	異文化理解（中国の文化）					担当教員	LI DANDAN
英文授業名	Understanding Different Cultures (Chinese Culture)						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育 5 6 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	①中国の文化に興味を持ち,異文化に対して理解しようとする姿勢で臨むことによって,寛容性や受容性を養い,多文化を共生する基礎ができるようになります。 ②自文化を見直し,異文化が新しい視点を与えてくれるものにとらえ,それを実践するように心構えができるようになります。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	・異文化理解の一環として中国の文化を学びます。合わせて異文化理解（全般）の一般的な内容を取り入れます。 ・理解を深めるために毎回グループワークを行います。 ・中国の世界遺産についてグループ発表をします。 ・宿題として授業振り返りシートを書いてもらい、理解や定着を促進します。						
(5)授業のキーワード	中国の文化 異文化理解						
(6)授業計画	第1回 オリエンテーション 異文化とは 第2～5回 中国の地理と歴史 文化の特徴、異文化受容のプロセスなど 第6,7回 茶文化 人間の行動を規定するもの、違いに気づく 第8～10回 中国の世界遺産（グループ発表） 差別を考える 第11,12回 中国の高等教育&チャイナユース 差別を減減する方法 第13～15回 中華料理 非言語コミュニケーション、アサーティブ・コミュニケーション ＊最後の授業に授業アンケートを行います。						
(7)成績評価の方法	1）授業振り返りシート：14回×5点 ・授業内容とグループワークを振り返り、内容を整理しながら、感想を書く。（これが十分できたら3点） ・授業内容またはその日のグループワークに対する疑問点や興味のある点について、各自で調べて一歩踏み込んだ理解を得る。（これが十分出来たら2点） 2）グループ発表：10点（グループごとつける） チェックポイント ①内容は充実しているか②質問に適切に答えたか③グループメンバーで協力し合っているか 3）主体性：20点 積極的に授業に参加しているか,積極的にディスカッションに参加して他者の意見に真剣に耳を傾け,自分の意見を適切に述べているのか,について評価する。						
(8)成績評価の基準	上記①+②+③は最後の成績になる。 90点以上：卓越 80点以上：かなり上にある 70点以上：やや上にある 60点以上：その水準にある						
(9)事前事後学習の内容	・事前学習は必要に応じて指示します。 ・授業振り返りシートを作成し、次回の授業時までに提出。 ＊振り返りシートの内容について（５）を参照 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	・毎回必ず出席システムで出席を登録し、QRコードをうまく読み取れなかった場合は授業後に速やかに申し出てください。 ・遅刻認定時間：授業開始15分後 欠席認定時間：授業開始30分後 ＊遅刻3回は一回の欠席と数えます。 ・出席に関する不正行為は懲戒の対象となる可能性があります。						

(10)履修上の注意	・欠席した場合の振り返りシートの提出は認めません。 ・言葉が少しでもわかれば、その国に対する親近感や興味を持ちやすくなるので、中国語の履修があることが望ましいですが、必須ではありません。 ・受講生の人数、理解度などによって内容の一部変化や授業のペースが前後する場合があります。
(11)質問,相談への対応	授業の前後に対応します。その日時以外はlidandan@shinshu-u.ac.jp へメールしてください。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	原沢伊都夫著『異文化理解入門〔改訂版〕』,研究社,2013年初版,2530円（税込み）。
【参考書】	湯浅邦弘編『テーマで読み解く中国の文化』,ミネルヴァ書房,2016年 夏目秀男『精華大生が見た最先端社会、中国のリアル』,株式会社クロスメディア・プブリッシング,2020初版 中国文化事典編集委員会編『中国文化事典』,丸善出版,平成29年発行 岡本隆司監修『一冊でわかる中国史』,河出書房,2020年初版 並木頼壽、杉山文彦編著『中国の歴史を知るための60章』,明石書店,2011年初版 張競『中華料理の文化史』,ちくま新書,1997年第一刷 ヴィクター・H・メアアーリン・ホー著、忠平美幸『お茶の歴史』 河出書房新社 2010初版 ・その他は授業で随時紹介します。 ・参考書は購入する必要はありませんが、どれか一冊でも図書館から借りるなどして読んでみることを推奨します。